【第122号（2026.11）】

人に、街に、大地に。
SENKEN
がんばろう！東北

仙建線路グループだより 絆

Protect the Future of the Railroad
鉄道の未来を守る
みちのく軌道会

【協力会社紹介】　有限会社　佐藤建設



弊社は、県や市町村発注の土木工事を施工する「土木部」と軌道工事を施工する「軌道部」があり、この2本柱で構成された会社です。会津若松出張所さまの安全会議に合わせて、弊社「安全協議会」を開催しています。会議前には全社員が顔を合わせる「総合朝礼」を実施しています。「軌道部」は夜間作業が主であり、「土木部」とのすれ違いとなるため、この機会が情報交換の場となります。社長からの安全の思いや社会情勢等の挨拶があり、各部からの作業進捗情報交換、佐藤建設企業方針の唱和と続き「タッチアンドコール」で締めくくっています。今月も安全を誓い、その後「安全協議会」と移行して行きます。

○安全大会



弊社の令和8年度安全大会を6月に開催いたしました。ご来賓の会津鉄道施設課長さま、福島支店安全部次長さま、会津若松出張所長担当所長さまよりご指導をいただき、自個所で発生させた事象の再発防止を図り、心新たに無事故無事象「ゼロ」の誓いを行いました。また、特別講話として南会津警察署地域交通課長さまより「全国安全週間」も実施されていることから「交通事故等の推移及び交通ルールの変更点」のご指導をいただきました。プライベート時でも交通ルール厳守を誓いました。

午後の実設訓練後、恒例のボーリング大会・会社主催の親睦会で安全大会を締めくくりました。





○門型橋マクラギ交換機の使用



会津線　養鱒公園駅～会津長野駅間「加藤谷橋りょう」の橋マクラギ195本の交換を無事故で完遂することが出来ました。特に、弊社の強みでもある「土木部」との共同にて、新マクラギへの寸法入れから加工まで短時間で終了出来ました。交換作業においては、門型橋マクラギ交換機を使用した重量物扱いの労力軽減措置が図られました。また、橋上での作業であるため不用意に資機材を落下させることの無いように、チューブライトも使用し無事に終了することが出来ました。

○技能実習生紹介

弊社の弱点であった従事者の人員減少を補うべく、インドネシアより技能実習生3名を迎え入れることが出来ました。いざ出発しようとした際に、ジャカルタ空港の近くにあるクラカタウ火山が噴火したため空港が閉鎖され3日間の足止めを余儀なくされました。その後、無事日本に到着し、茨城県にある研修センターにて日本でのルールを1ヵ月間学び、10/7に佐藤建設で顔合わせを行いました。明るく元気に、日本語にも前向きに勉強しています。

≪安全教育≫



10/8(木)に仙建さまより作成して頂いたインドネシア語版「安全教育資料」及びみちのく軌軌道会さま作成YouTube「在来線の仕事」の映像を活用させて頂き線路メンテナンスと安全の大切さを説明しました。また、軌道作業で使用する主たる道具を写真で見える化した資料にて覚えられるようにしました。

10/9（金）には会津若松出張所所長さま及び安全担当所長さまより「新規入場者教育」のご指導をいただきました。理解度確認試験もインドネシア語で記載された内容で実施して頂き、無事合格となりました。晴れて軌道工事に従事出来るようになりました。

≪実作業≫



10/13初めての軌道作業はMTT跡作業の道床整理750mでした。何も分からない状況ですので、先輩社員より「なぜこの作業を行うのか」等の説明を受けながら従事しました。

≪職場のホープの紹介≫

今年の10月から新たに仲間に加わった技能実習生3名を紹介します。日本の生活や軌道工事の業務ではなれないことが多いですが、母国から遠く離れた日本で奮闘している3名を今後ともよろしくお願いします。

○ガトット　バンバン　レカ　ペルマナ（29歳）

ガトットと呼ばれています。　西ジャワ州　デポック市出身

【鉄道経験】　1ヶ月
【抱負】　日本で10年以上働きたい
【特技】　新しい環境に直ぐになれる事



○ジュニワン　ミンセン（24歳）

ミンセンと呼ばれています。　ベンクル州　ベンクル市出身

【鉄道経験】　1ヶ月
【抱負】　日本で5年働きたい
【特技】　パソコン操作
【　夢　】　帰国後喫茶店と養鶏場を開きたい



○ピエロ　サトリオ（24歳）

ピエロと呼ばれています。　ベンクル州　ベンクル市出身

【鉄道経験】　1ヶ月
【抱負】　日本で3年間働きたい
【趣味】　日本文化を調べること
【　夢　】　帰国後自営業を展開したい

